



かしま友愛

第23号

2012年6月29日

社会福祉法人
加島友愛会事務局

大阪市淀川区加島1-60-36

☎ 06-6101-6601

第一回 理事会・評議員会

開催される



より「介護付有料老人ホームリュミエール加島」が四月にオープンした」と感謝の言葉がありました。

つづいて、レインボープラン第二期について①社会福祉の海外交流・東京への事業展開、②保育所運営・障害児支援・養護施設、③社会福祉人材育成の学校運営など私案を提起し、さらに医療機関との連携を議論していこうとの挨拶がありました。

議長に市村評議員を選出し、西岡常務理事が二〇一一年度事業報告（二・三面）、櫻井副理事長が決算報告（別紙）を行い、定款変更・新事業などが熱心に討議され、採決されました。



五月二十七日（日）加島友愛会の二〇一二年度第一回理事会・評議員会が、理事・監事・相談役・評議員・施設長・本部事務局など三十六名が出席して開催されました。
開会に先立ち、平田理事長から「社会福祉レインボープランの第一期として職員スタッフ・理事・評議員、周辺地域のみなさんの支援・協力に

コラム

かしまの光

生活保護制度の話題がマスコミに大々的に取上げられている。

自民党の国会議員が高額所得者芸人の母親の生活保護受給を槍玉にし、マスコミも「不正受給」が各地で横行しているかのような論評を流している▼今回の「騒動」で生活保護者やその家族を「非難・批判」する風潮が広がっている。また、問題の原因を「家族による『扶養義務・自助』の欠乏」に求め、「家族愛」の高揚が大切だとしている▼この論法（価値観）に従えば、高齢者・障がい者支援（福祉）も「家族がやるべきだ」となり、社会的弱者の「セーフティネット」は不必要だという結論（世論）になりかねない▼家族間の助け合いは大切だが「家族愛（義務）」を強制する社会は、人々を疲弊させ過去の「暗い市民社会」に逆戻りさせる。「美しい家族愛」に惑わされてはならない。

二〇一一年度 加島友愛会事業報告

社会福祉レインボープラン十年計画の推進

① レインボープラン企画室の設置

二〇一一年四月に、加寿苑からの異動による専従職員、職員採用の前倒しなどでスタッフを配置し、「リュミエール加島」オープンに向けた活動をすすめてきました。

② 介護付き有料老人ホーム・小規模多機能型居宅介護事業「リュミエール加島」

この四月にオープン、併設する小規模多機能型居宅介護事業も五月にオープンしました。施設の内容は、介護付き有料老人ホーム(五十室)と小規模多機能型居宅介護事業(登録定員二十五人・利用定員デイサービス十五人/日、シヨートステイ六室)の施設となっています。

看護師・介護福祉士などの二十四時間の看護・介護サービス体制に加え、理学療法士・鍼灸師が常勤し、充実したサービスが提供できるようにしました。

③ 地域包括支援センター

加島・三津屋地域の高齢者に対する介護予防・総合相談支援・権利擁護などの業務を実施するため加寿苑に設置し、昨年四月より保健師(看護師)・社会福祉士・主任介護支援専門員五名体制でスタートしました。

④ 障害者新グループホームと移転問題、ホームヘルプ合同事務所

障害者の自立・地域生活移行促進と社会参加促進をめざし、グループホーム新設を追求してきましたが、「リュミエール加島」隣の敷地が確保できて新年度完成予定の目途がたちました。あわせて、数年来の課題であったホームヘルプ加寿苑と障害者センターのホームヘルプ朱鷺の合同事務所および地域住民との交流スペースも併設した計画を進めています。

市営住宅解体工事および消防法の改正によってグループホーム「チューリップ・セクション」「ひのき・うぐいす」も移転が余儀なくなりました。移転先について大阪市と協

議してきましたが、この五月市営加島中央住宅への移転先が決まり、この秋口までには移転が完了するべく進捗しています。

⑤ 障害者就労継続A型(雇用型)事業、福祉有償運送事業

A型は、利用者と施設(法人)との間に利用契約のほかに、雇用契約を結び最低賃金など労働関係法規にのっとってサービスが提供される事業です。障害者の所得が自立生活にふさわしい金額の収入が得られることをめざし、A型(雇用型)を計画していますが、クリアすべき課題のバーが高いこともあり実現に至っていません。

加島希望の家とむつみの通所送迎事業には、四十七人が利用登録し、のべ七千八百七十七人の利用実績があります。(二〇一一年度)

新年度に入って送迎コースの増加をふくむ福祉有償運送事業とリンクさせた改善策を計画していますが、

営業許可要件がネックとなって進捗していません。

かしま障害者センター

障害者福祉事業の総合センター的位置づけ・役割を果たす一方で、生活介護事業(定員二十三人)、障害者就労継続B型(定員二十五人)、中高生の日中一時支援事業(登録十三人)、グループホーム(七ヶ所三十人)、精神障害者相談支援センター・地域活動支援事業、ホームヘルプ事業、障害者就労支援事業、障害者就労移行事業、通所送迎事業など多様な障害者福祉サービスを実施してきました。事業によって開所日数にバラツキがありますが、障害者



センター全体での一日平均利用者総数、サービス提供時間数、相談件数、就労訓練件数ともに増加し、就労移行支援では十五人を一般企業に就職させるなど大きな実績を見ています。

加島希望の家

重度の知的障害者を対象とする生活介護事業(定員五十人)通所送迎事業を実施しています。

近年家族の高齢化にともなう介護力の低下と利用者の障害の重度化(平均障害程度区分五・一五)が顕著になってきている中、利用登録者は三人増の五十五人、開所日数二百七十日で一日平均利用が四二・七人で、通所送迎サービスには延べ四千八百四十二人が利用しました。

アンダンテ加島

主に重度知的障害者を対象に、施設入所(定員五十人)、生活介護(定員五十人)、短期入所(定員五人)、日中一時支援(定員五人)を実施しています。

施設入所の一日利用者数が四八・七人と過去五年間上昇し続け、生活介護の稼働率は一〇一・六%、短期入所では一〇五・三%となっており、施設能力一〇〇%を駆使して利用者のニーズに添えています。

こうした利用実績の増加は、利用者の加齢に伴う重度化、家族の高齢化・介護力の低下を如実に示すもので、年度末の入所待機者は四十九人です。

加寿苑

特別養護老人ホーム(定員八十六床)、短期入所(二十四床)、高齢デイサービス(定員二十三人)、高齢者ヘルプサービス、ケアプランセンター、地域包括支援センターの事業を実施しています。

一〇〇床の稼働率は九三・八九%で、近年の傾向として短期入所のニーズが高くなっており、また入所待機者百六十一人(本年三月末)の問題解消のため「リュミエール加島」を建設しました。

デイサービス、ヘルプサービス利用実績とともに昨年並みでしたが、ケアプランセンターは、介護支援専門員の異

動や退職により相談件数が減少しました。地域包括支援センターは昨年四月にオープンし業務を開始しました。

法人全体の事業収支と職員数

収入は三・一％増の十三億七千五百六十六千円でした。支出はリュミエール加島建設関係事務費等を含めて四・八％増に抑制した結果、事業収支差額は九・二％減の一億三千六百二十二万六千円、福祉医療機構の借入金元金償還金を差し引いた剰余金は、一億百五十六万一千円を確保しました。法人本部人件費、業務委託費を含む人件費比率は六八・四％となっております。

本年度末の資産合計は、三十一億三千八百八十六千円、昨年度比四億七千七百六十六千円増となり、負債を差し引いた純資産は、二十二億九千二百一十二千円となお微増しています。

リュミエール加島を含む職員数は、本年三月では本務職員百三十二人(昨年比十六人増)、常勤嘱託職員三十六人(昨年比三人減)、非常勤職員九十九人、法人全体での職員数は二百六十七人(昨年比二十四人増)となっております。

キャリアパスの構築・人事評価制度の導入

二〇一〇年七月から水野博達理事を講師とする学習会は四回、施設長レベルでのキャリアパス検討会議は十七回を重ねてきました。二〇一一年五月から各施設で人事評価制度職員説明会をおこない、キャリアパス検討会では職務基準書・目標管理シート・人事評価シートを作成しました。



六月から八月にかけて、介護職・生活支援職の主任・本務職員を対象に第一回プレ評価を実施しました。八月二十三日には、主任を対象に評価者研修を実施。

十二月には、第一回プレ評価の取組みを分析、職務基準書の検討や変更などを行い第二回プレ評価を実施しました。四月十六日の第十七回キャリアパス検討会では、これまでの取組みを総括し人事委員会、職務基準書の再検討、栄養士・事務職・看護師の人事評価シート作成、実施要綱を議論しました。

給与・賞与・昇格・昇給とリンクする人事評価制度Ⅱ人事考課制度の具体的実施の方向を確認しました。

東日本震災被災者支援・インド子ども人権基金・職員海外研修・JA東びわこ米産直交流

① 東日本震災被災者支援 義援金八十九万七千七百九十三円を福祉協会等へ寄付、被災した高齢・障害福祉施設への介護用品等緊急支援九十九万一千三百五十五円分を行いました。

四月から法人障害者施設の職員を現地にボランティア派遣、第一次四月十一日～五月二十一日岩手県盛岡市へ六人(各二週間)、第二次八月二十二～九月三十日宮城県登米市へ六人(各二週間)、さらに十月に入っても一名(二週間)を派遣しました。

② インド子ども人権基金 二〇一〇年度より、カーソト制度により貧困と差別に苦しめられているダリットの子どもの就学援助活動に参加、三名の職員がインド人権スタディツアーに参加しました。



昨年七月下旬のスタディツアーには平田理事長が参加しました。

③ 職員海外研修

法人設立二十周年にあたり、島根県の社会福祉法人草雲会とともに職員三人(加寿苑・アンタナテ加島・むつみ各一名)を、九月五日から一週間スウェーデン社会福祉視察研修に参加させました。

④ JA東びわこことの米産直交流 田植えツアー：参加者 七十三名 稲刈りツアー：参加者 六十九名

低農薬有機栽培米「かがやき米夢実」の購入(一万五千八百六十五kg) 産直野菜(玉ねぎ・じゃがいも・人参)の購入(五千四百五十一kg)

機関運営・機関紙発行・ホームページ

法人運営にあたっては、法人設立理念に沿って定款および定款準則ほか諸規程に基づいて民主的運営と透明性に心がけ、各機関会議を開催し、機関紙『かしま友愛』の発行(四回・各一千七百部)、ホームページによる情報公開に努めました。

職員研修

福祉サービスの質的向上をめざし、法人内ほか各種団体・行政主催の研修に職員を積極的に参加させるとともに、社会福祉資格取得の奨励をすすめてきました。

地域連帯の醸成

加島友愛会は、加島・三津屋地域の社会福祉のセンター的役割を担うことをめざして事業を進めてきました。社会福祉レインプラン第一期の最重要課題は、リュミエール加島整備計画にあります。

これまでの当法人の施設は被差別部落を含む加島一丁目の地区に全て整備してきましたが、このリュミエール加島は加島四丁目で施設整備をすることになりまして、浜之町と西之町の皆さんには大変なご支援ご協力をいただきました。

リュミエール加島の取り組みが、地域連帯を醸成することとなったことは、法人の基本理念からみると大きな成果であったと考えます。



淀川区西部地域包括支援センターの1年の取り組み

加寿苑



淀川区西部地域包括支援センターは、昨年4月に大阪市の委託を受けて加寿苑内に開設されました。

淀川区には4ヶ所の地域包括支援センターが設置されており、西部地域包括支援センターの圏域エリアは加島と三津屋となっています。今年度大阪市内に65か所の地域包括支援センターがありますが、西部地域包括支援センターは2番目に小さい(圏域の高齢者人口の少ない)センターです。

地域包括支援センターには、保健師及び看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員などの専門職が配置され、それぞれの専門性を活かしながら業務を行っています。

地域包括支援センターには4つの役割(業務)があります。

- ①総合相談支援事業
- ②権利擁護事業
- ③包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
- ④介護予防ケアマネジメント事業

以上が4つの役割(業務)です。

昨年度の総合相談件数は延べ件数約2740件であり、1カ月の平均は約230件となっています。今年度に入っても月平均の総合相談件数は増えています。

昨年度、地域に向けては次のような取り組みをおこなっていました。

☆大阪市家族介護支援事業の認知症講座

☆二次予防把握事業のための講演会

☆座談会(三津屋会館・加島三津屋文化センター)

☆消費者センター講座

☆認知症サポーター養成講座(三津屋小学校・加島小学校)の補助

☆いきいき教室・ふた葉会が開催するクリスマス会の参加

☆加島西之町お誕生日会の参加

また、数々の会議に加え、加島と三津屋の民生委員定例会にも定期参加させていただき「地域との顔の見える相談所」として日々邁進している次第です。

加島・三津屋のどちらの地域も町会や民生委員会、地域社会福祉協議会も精力的に活動を進めていますが、地域全体の高齢化は進行しており、住民に対する相談機能の充実が求められています。

今年度も地域に向けた活動を行い、また、地域が求める「課題」に対して精力的に取り組んでいき、少しでも地域の皆様に「便利な地域包括支援センター」として皆様に周知していきたいと思っております。(センター長 近藤)

小規模多機能型居宅介護事業を開始

リュミエール加島

リュミエール加島では、4月1日の介護付き有料老人ホームのオープンに続いて、5月1日より小規模多機能型居宅介護事業をスタートしました。あまり聞きなれない「小規模多機能型居宅介護」について事業内容を紹介します。

「通い」「訪問」「宿泊」をセットに

小規模多機能型居宅介護とは、介護の必要な高齢者が住み慣れた自宅や地域で、その人らしい暮らしができるようご様態やご希望に応じ、「通い」を中心として「訪問」や「泊まり」を組み合わせ、24時間365日を包括的に支えるというサービスです。

「通い」は利用者のご自宅に迎えにいき、当施設にて食事や入浴、レクリエーションなどのサービスを提供します。家族の介護負担を軽減し、利用者も一日楽しく安全に過ごしていただけます。固定された時間でのサービス提供ではなく、利用者の様態や家族の状況に合わせて、サービスの提供時間や方法を柔軟に変化させることができます。

「訪問」は自宅で過ごしている時間帯でも利用者や家族の状況に合わせて、「通い」や「泊まり」と同じ顔なじみの職員が自宅に訪問させていただき、食事や排せつ、着替えなどの介助や、食事の準備、洗濯、掃除などの援助をさせていただきます。

「泊まり」は家族の外出や休養などにより自宅で介護できない間、当施設に宿泊できるサービスです。「通い」と同じ場所で顔なじみの職員が対応することにより、利用者も安心して宿泊していただけます。

リュミエール加島は、植栽もすてきに配置されています。お天気の日が続いた5月から6月初旬は毎日のように利用者と水やりをし、心地よい季節を一緒に楽しく過ごしました。

(施設長 高階 宣夫)



田植えにいききました

加島希望の家



毎年恒例の田植えツアーですが、今年は五月十三日(日)に開催されました。加島友愛会からは利用者、職員あわせて六十八名で参加してきました。会場となる滋賀県JA東びわこのふれあい農園に近づく、現地の農協のみなさんがバスに手を振って笑顔で迎えてくれます。

当日は天気もよく、田植え日よりでした。吹く風も心地よかったです。今年も気温が今ひとつで田んぼの水はまだまだ冷たく、始めの歩を踏み出すまでに「冷たい！」と一騒ぎ。入って苗をうけとり、ひとつひとつ植えはじめると、こんどは転びそつになつてまた一騒ぎと

いつもの賑やかな田植えとなりました。

となりの畑では芋の苗付けが始まると、やっぱり水が冷たかったのか希望の家のみなさんはすぐに畑に移動しています。作付用の穴が空いたビニールの張った畝のそばに陣取って、農家の方から芋のツルを受けとると手早く植えては、すぐに次のツルをもらいにこられるので、農家の方も大忙しになっていました。

田んぼでの仕事が終わるとお楽しみ会の昼食会です。カレーやうどん、フランクフルトなど色々な料理を用意していただきました。体を動かした分おいしさも倍増です。現地の方も一緒にテーブルに入ってもらい賑やかな食事となりました。

交流会のイベントでくじ引き大会がひらかれますが、今年は希望の家の利用者が大当たり、一等のお米をいただきました。本当に楽しい一日を過ごすことができました。ありがとうございます。

また、秋の稲刈りもよろしく願います。

(総務部長 藤原 佐二)

余暇活動で料理を

アンダンテ加島

アンダンテ加島は五十人の方が入所されている障害者支援施設(入所施設)です。平日の日中は作業や日中活動の支援ですが、二十四時間施設なので生活面の支援や余暇活動などにも取り組んでいます。余暇活動は土日や休日に行い、スタッフと利用者数名で外出をしたり、施設内での活動をしています。

今回は毎月第一土曜日に行っている料理余暇について報告します。

料理余暇は施設内の食堂で行います。事前にスタッフと栄養士で相談し、利用者の方の嗜好や調理工程から毎回違ったメニューを考えますが、今回はパフェを作りました。

ホットケーキ、果物、生クリーム、アイスを盛り付ける簡単なものですが、ホットケーキの生地を作る・生地を焼く・果物を切る・生クリームを泡立てる・盛り付けるなどの各工程を最初にスタッフが手本を見せ、利用者の方に分担して作ってもら

います。

参加されている利用者の方は出来上がりを楽しみにして、時には笑い、時には真剣なまなざしを見せながら、各々のペースで作られていました。完成した方から食べていただきますが、「おいしい！」と言った声が聞こえてくると、企画したスタッフとしてはうれしい限りです。

普段の食事やおやつとの時間は違って、自分で作ったものを食べる楽しみもあっていただけると、今後も料理余暇を続けたいと思います。

(生活支援員 山口 真穂)



▼ホットケーキを焼く

▲飾り付けして完成です

▲生地を混ぜる

寝具を丸洗する作業開始

むつみ



むつみの就労継続支援B型では五月上旬より施設外就労を開始しました。豊中市にあるクリンカンサイ株式会社で、布団などの寝具類を丸洗する工場内での仕事です。

三名の利用者とスタッフ一名が九時から一六時まで働きます。布団やマットを洗濯機に入れて回したり、洗い終わった布団を乾燥機に移すといった工程を担います。布団の種類によって扱う枚数が違ったり、機械の操作など難しいこともありませんが、みなさん一生懸命がんばっています。働く時間も施設内での作業時間より長く力仕事でもある

新たな利用者を迎えて

Link

ので、「大丈夫かな」と心配していた面もありましたが、充実した様子で頼もしい限りです。企業の方々も、「障害をもった人たちと関わるのが初めて」とのことです戸惑いもあったと思いますが、とても暖かく受け入

梅雨に入り、晴れ間の少ない日が続きますが、Linkでは四月から新たに七名の利用者を迎え、フレッシュな気持ちで毎日作業に取り組んでいます。

二〇一一年度は十四名の利用者が就職を理由に退所しました。二〇〇六年にLinkが開所し、これまで六十二名の方が就労実現されています。この方々を対象にLinkでは、就職後の余暇支援や働くモチベーションの維持を目的にOB会を結成し、食事会や勉強会などを開催しています。

先月、今年度初めてのOB会を開催し、メンバー同士の自己紹介や今年度の目標などを発表し合いました。OBから聞く、

れていたとき、利用者さんもがんばれているのだと思います。今後はさらに人数を増やし、リネンの仕事を取り入れていく予定になっています。

(支援課長 胡麻 陽子)

就職先での従業員さんとの何気ない日常会話や怒られたことやほめられたこと、初めてもらったお給料の使い道や残業したことなど、とても晴れやかな表情で話してくれる姿に、私たち職員が目指す支援やそのやりがいを見ることができました。そして、会社の中で自分の役割を持つことで、自信につながり、新たな自分を発見したり、生きがいになったりするのが気付かされ、『働くこと』がもたらす力を実感しています。



また、先日就職が決まった利用者の退所式をしました。式の最後に、「みなさんも諦めずに頑張ってください」とメッセージを残してくれました。お給料をもらったなら、百貨店で買い物したいそうです。就職が決まってから退所するまで、Linkで作業をしている時も嬉しそうにニコニコされていました。



Linkで支援をしていると、利用者のみなさんのいろんな表情や様子を伺うことができます。その中でも、やはり実習先で決めてもらった時や就職が決まった時、Linkでの作業で目標を達成した時、がんばったことを認めてもらえた時の表情が一番いきいきされていると思います。そんな表情を一度でも多く見ることが出来るよう、今年度もがんばります!!

(支援課長 玉城由美子)

第3回実践交流会の案内



加島友愛会の第三回
現場実践交流会を、八
月十一日(土)午後二
時より市民交流センタ
ー・よどがわで開催し
ます。

この交流会は、「法
人内外の交流の促進」
「発表者の力量アップ」
「各施設の取り組みの
アピール」を目的にお

こなわれるものです。
今回は全体で四本の発表を予定しています。多く
の皆さんの参加をお待ちしています。多く
(参加無料、申し込みは法人本部へ)

事業所名	テーマ
加島希望の家	グループホームとの連携
アンダンテ加島	地域で生活するために ～入所施設の取り組み～
かしま障害者センター (就労支援事業部)	職場定着にむけた対象者 支援・事業主支援
加寿苑	面会率アップにむけて



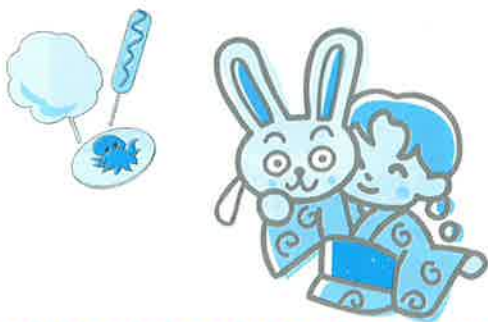
夏の予定

かしま障害者センター
夕涼み会

7月28日(土) 17時

加寿苑 夏まつり

8月18日(土) 17時



❖ 加島友愛会後援会 ❖

後援会にご加入いただき、ありがとうございました。紙面をお借りしてあつく御礼申し上げます。
会費の2011年度の納入状況をお知らせいたします。今年度もよろしくご協力をお願いいたします。

後援会事務局

会費納入状況	団体	18団体	24口	240,000円	
	個人	146人	170口	510,000円	合計 750,000円

今年度の取り組みにも、
皆様の参加・協力をお願いします。



◀夕涼み会の
舞台も後援会
の支援で購入



社会福祉法人 加島友愛会

介護付有料老人ホームリュミエール加島

小規模多機能型居宅介護

見学会開催!!

7/13~7/16

10:00~16:00

上記の日程以外での見学は一度ご連絡下さい。

4月1日新規オープンリュミエール加島では..

- * 岩風呂・檜風呂での広々とした入浴
 - * 施設内でのマッサージサービス
 - * 管理栄養士によるバランスのとれた食事提供
 - ..等々充実したサービスを提案しております♪
- 詳細は見学会にてご説明致します。



理学療法士による 楽々介護セミナー 腰痛・膝痛相談も

7/13(金)14(土)16(月)の午後から随時

予約体験 マッサージ無料体験 昼食試食(10食)



利用料金に関して

Aタイプ 2人部屋ご入居の場合		
一時金	4,000,000円	
月額利用料	239,000円	食費2人分
Bタイプ 1人部屋ご入居の場合		
一時金	1,800,000円	
月額利用料	132,000円	

※介護保険料一割等は別途

JR東西線加島駅下車北へ徒歩8分
梅田・十三より市バス97号「神崎橋」「加島駅」行き
阪急バス「加島駅」行き「加島西(加島3丁目)」で下車

見学のご予約・お問い合わせ

TEL 0120-087-322

MAIL lumiere@kashima-yuai.or.jp

〒532-0031 大阪市淀川区加島4-16-35

* インターネットサイト「オアシスナビ」掲載 *